膵臓癌　　進行･再発

ＧＥＭ+Erlotinib療法

（　　）クール目

患者ＩＤ：　@PATIENTID

患者氏名　：　@PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(㎡)
$HEIGHT01_Doc	$WHEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与ｽｹｼﾞｭｰﾙ：　１クール 28日。　day １、８、１５ に点滴。

使 用 薬 剤　：　ゲムシタビン点滴静注用「ﾔｸﾙﾄ」 200、1000 mg/V（成. ゲムシタビン）
エルロチニブ：エルロチニブ錠２５ｍｇ、１００ｍｇ

使 用 基 準　：　開始時；class Ａ。以降；class Ｃ。
適正使用ガイドに準じる
※　食事の影響を避けるため食事の1時間前から食後2時間までの間の服用は避けること
※　間質性肺疾患を起こすことがあるので、観察を十分に行うこと
※　骨髄抑制等の副作用が高頻度に発現するため，投与中は定期的に臨床検査を行い，
異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。
※　皮膚症状には早期から積極的な対応を行うこと。

投与量：

薬　　剤	標準投与量	計算値(mg)	投与量(mg)
ゲムシタビン	1000 mg/㎡	#VALUE!	
エルロチニブ錠	100 mg/body		

<<　タイムスケジュール：開始時刻　>>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

内服　エルロチニブ錠　0　mg　空腹時（食前1時間、食後2時間は避ける）

day1	6月11日	（木）	0時00分	①	生理食塩液 50mL ＋ デキサート 6.6mg 15分で点滴静注
			0時15分	②	生理食塩液 100mL ＋ **ゲムシタビン**　mg 30分で点滴静注
			0時45分	③	生理食塩液 50mL フラッシュ

day8
day15　同様に行う

day22　ーーー　休　　薬　ーーー

REFERENCE

Malcolm J. Moore, David Goldstein, John Hamm, et al： J Clin Oncol 25：1960-1966.
Erlotinib Plus Gemcitabine Compared With Gemcitabine Alone in Patients With Advanced Pancreatic Cancer:
A Phase Ⅲ Trial of the National Cancer Institute of Canada Clinical Trials Group

2014年10月度化学療法プロトコール審査委員会承認：2014年10月20日